

科学技術連携施策群の成果 及び今後の課題と進め方 (中間報告 概要)

平成18年11月21日

基本政策推進専門調査会

・ 科学技術連携施策群とは

- ・ 各府省科学技術施策の縦割り打破、連携強化
- ・ 府省横串のWG及びコーディネーターを配置
→ 成果の最大化とイノベーション創出

【目標、主な関係府省】

ポストゲノム - 健康科学の 推進 -	テイラーメイド医療やゲノム創薬、予防医学などの確立を目指す 文部科学省、厚生労働省、 農林水産省、経済産業省
新興・再興 感染症	新興・再興感染症から国民の安心・ 安全を守る研究体制の確立を図る 内閣府、文部科学省、厚生労働省、 農林水産省
ユビキタス ネットワーク - 電子タグ技術 等の展開 -	ユビキタスネットワーク社会実現の 上で中核的な技術基盤の確立を図る 総務省、文部科学省、経済産業省、 国土交通省
次世代 ロボット - 共通プラットフォーム 技術の確立 -	次世代ロボットのさまざまな応用分野 に共通のプラットフォーム技術の確立を図る 総務省、文部科学省、国土交通省 経済産業省、農林水産省

【目標、主な関係府省】

バイオマス 利活用	バイオマス利用、燃料転換等の技術 開発により循環型社会形成を目指す 総務省、文部科学省、農林水産省、 経済産業省、国土交通省、環境省
水素利用/ 燃料電池	水素エネルギー社会実現のため水素 利用、燃料電池技術の確立を目指す 総務省、文部科学省、経済産業省、 国土交通省、環境省
ナノバイオ テクノロジー	ナノとバイオの融合領域研究により健康 寿命延伸等安心安全な社会を目指す 文部科学省、厚生労働省、 農林水産省、経済産業省、環境省
地域科学技術 クラスター	地域における革新技术・新産業創出を 通じた地域経済の活性化を図る 内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、 農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

・ 平成17年度7月から活動開始

これまでの取組より、以下の成果が得られつつある。

1．府省施策の**重複の排除**

各省施策を俯瞰できる有識者と各省責任者
間での討議

2．府省間の**連携強化**による成果

役割分担の明確化、成果の相互利用

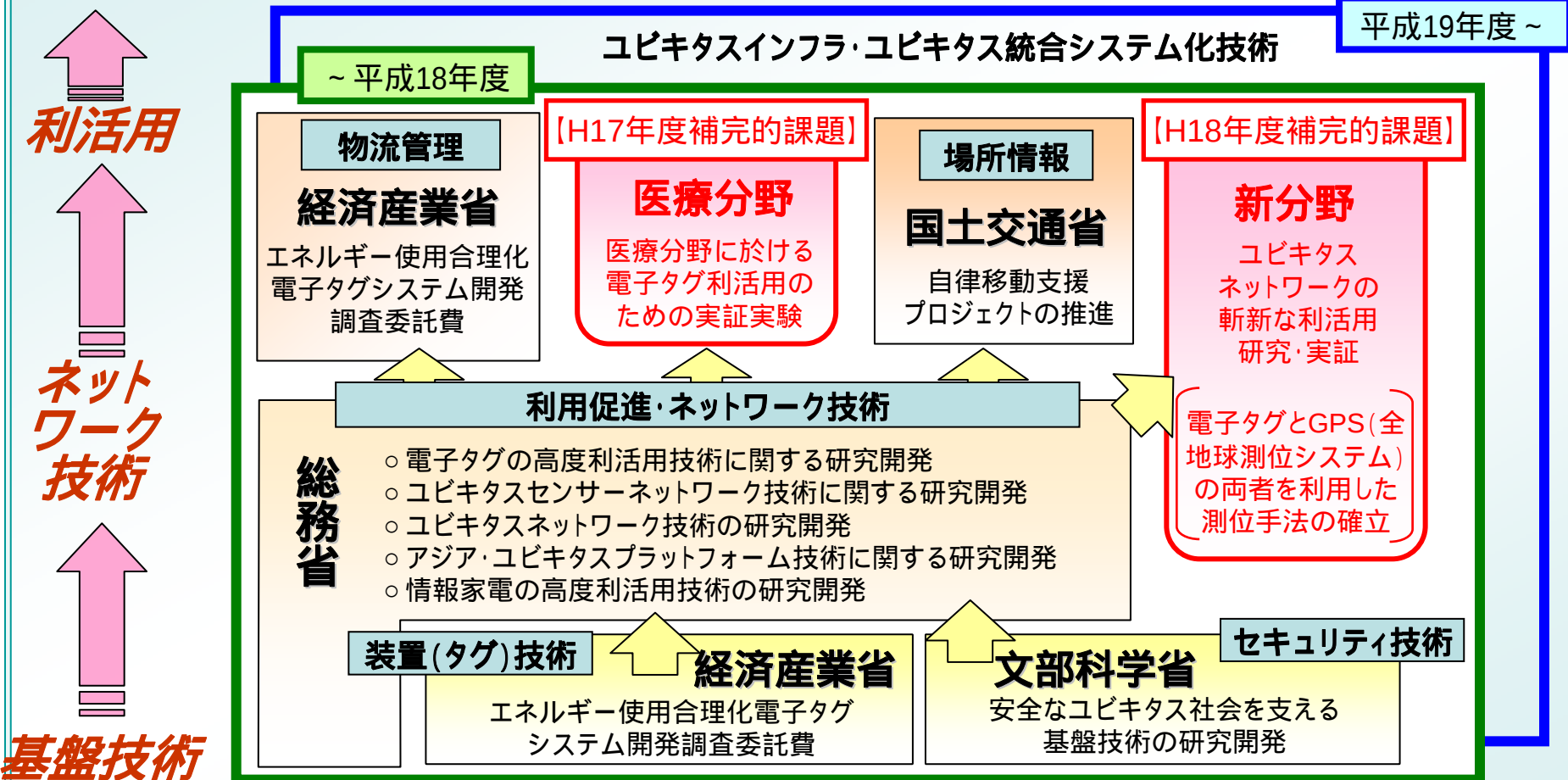
3．**補完的課題**の実施による成果

共通の研究基盤の整備、全体俯瞰に基づく
欠落課題抽出

－ 1 . 府省施策の重複の排除

- ・各連携施策群毎に**WG**を設置(コーディネーターを配置)
- ・府省施策の**全体俯瞰図**の作成による把握
- ・イノベーション創出への全体マップとしても有効

全体俯瞰図例：ユビキタスネットワーク - 電子タグ技術等の展開 -



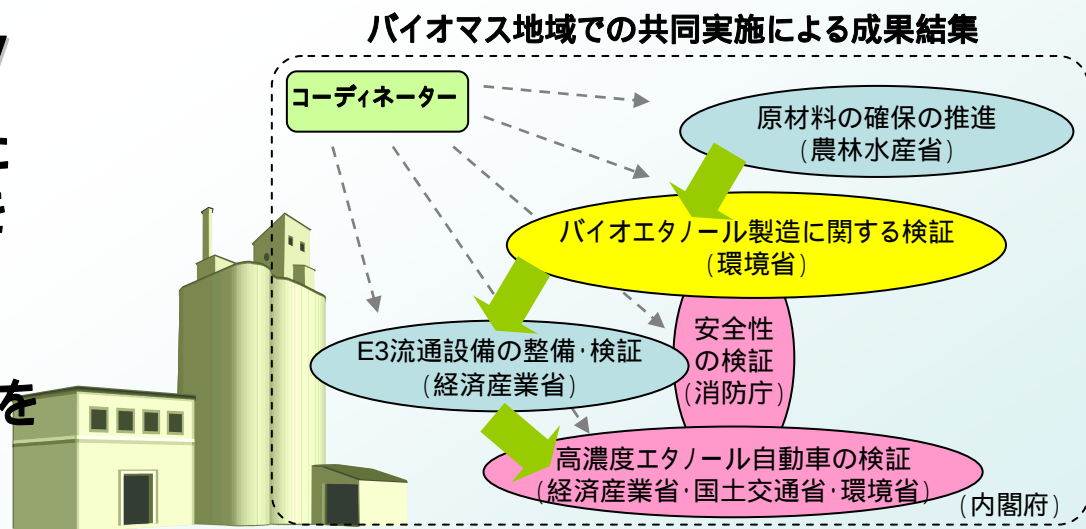
－ 2 . 府省間の連携強化による成果

所掌を越えた広い視点で、目標が共有され、

- ・ **役割分担**の明確化、
 - ・ **成果の相互活用**、
- が進み、研究と価値創造が加速化

(例) バイオマス利活用

各省が個別に対応していた
バイオマス利活用の施策を
統合し、車両の燃料用バイ
オエタノールの**生産から利
用まで**の一貫したシステムを
構築



- 3 . 補完的課題の実施による成果

- 個々の府省では対応しにくかった**共通の研究基盤整備**を行い、成果を創出
- **全体俯瞰図**をもとに、**欠落していた重要研究課題**を抽出し、研究全体を推進
- 補完的課題として、
H17より11課題、H18よりさらに8課題を実施中

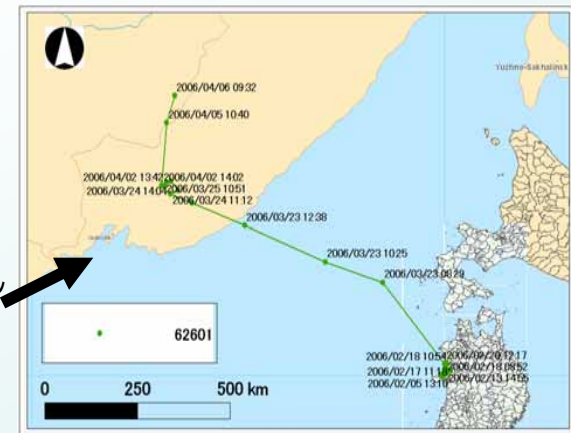
(例1)「生命科学データベース統合に関する調査研究」(ポストゲノム)
文科省、厚労省、農水省、経産省

→ 生命科学関係のデータベースの統合に関する課題を抽出し、
生命科学の研究開発基盤の強化に貢献する

(例2)「ウイルス伝播に關与する野鳥の飛来ルートの調査とそれら野鳥における病原体調査及びデータベース構築」(新興・再興感染症)
文科省、厚労省、農水省

→ ウイルス伝播に関する野鳥の飛来ルート等を解明し、我が国の感染症対策に貢献する

発信器を装着した野鳥(ミヤマガラス)の移動経路



・今後の課題と進め方

1. 課題

- ・ 基礎研究・研究開発から利用までの一貫した連携強化
- ・ 府省だけでなく民間を含めた情報の共有
- ・ 今回の連携施策群制度の検証に基づく本制度の更なる活用

2. 今後の進め方

- ・ 第3期基本計画の分野別推進戦略を効果的に推進するため、
連携施策群の手法を活用
- ➡ 戦略重点科学技術へ拡大
- ・ 補完的課題への取組
- ➡ 府省共通の研究開発基盤整備



イノベーション創出の加速化